

## エネルギー・CO<sub>2</sub>・ミニマム(ECM)セメント・コンクリートシステムが 平成27年度 地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞

竹本油脂は、東京工業大学、竹中工務店、鹿島建設、日鉄住金高炉セメント、デイ・シー、太平洋セメント、日鉄住金セメントと共同で開発したエネルギー・CO<sub>2</sub>・ミニマム(ECM)セメント・コンクリートシステムの功績により、平成27年度 地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞しました。



平口環境副大臣より表彰を授与される竹本社長



共同受賞者集合写真

### 地球温暖化防止活動環境大臣表彰について

環境省では、地球温暖化対策推進の一環として、毎年、地球温暖化防止月間である12月に、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人又は団体に対しその功績をたたえるため、地球温暖化防止活動環境大臣表彰を行っています。

このたび、ECMセメント・コンクリートシステムのCO<sub>2</sub>排出削減技術は5部門の表彰のうち「技術開発・製品化部門\*1」を受賞しました。

\*1: 省エネ技術、新エネ技術、省エネ製品、省エネ建築のデザイン等、温室効果ガスの排出を低減する優れた技術の開発によりその製品化を進めたことに関する功績

### ECMセメント・コンクリートシステムについて

ECMセメントは、NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)プロジェクトを通じて1大学7企業が一体となって共同開発しました。製鉄の副産物である高炉スラグを大量にセメントに混合させることで、エネルギー量とCO<sub>2</sub>排出量を従来セメント比で60%以上削減します。

本プロジェクト(ECMセメント・コンクリートシステム)は、①ECMセメントの開発、②従来困難だったCO<sub>2</sub>発生抑制と施工性・強度発現性・耐久性等の基本性能の両立を果たしたECMコンクリート・地盤改良技術の確立、③適用の仕組み整備を行いました。竹本油脂は、研究グループの一員として、ECMセメントに適した化学混和剤の開発でプロジェクトの進展に貢献しました。